

海 の 日



日時●平成25年7月15日(月・祝)
午前10時～午後4時(開場午前9時30分)

場所●東京都江東区越中島2-1-6(越中島キャンパス)
東京都港区港南4-5-7(品川キャンパス)

写真:昭和63年 修復工事完了時の明治丸

記念行事 (無料公開)

「海の日」とは

明治天皇が明治丸で奥羽御巡幸から横浜港に安着された7月20日に因んで、昭和16年に「海の記念日」が制定され、平成8年からは祝日「海の日」になっています。

越中島キャンパスマツ

トイレ

- ① 守衛所
- ② 先端科学技術研究センター
- ③ 1号館
- ④ 百周年記念資料館
- ⑤ 明治丸
- ⑥ 第1実験棟
- ⑦ ターボ動力実
- ⑧ 第2実験棟
- ⑨ 職員会館
- ⑩ 第3実験棟
- ⑪ 産学・地域連
- ⑫ 附属図書館



A 第12回 明治丸シンポジウム 「蘇る明治丸」

公開時間■13:00~16:45 場所■越中島会館2F講堂

今年は、明治丸の修復が国の事業として認められ、いよいよ本格的な修復工事が開始されます。松山優治東京海洋大学前学長の記念講演をはじめ、鈴木博之様(青山学院大学教授・博物館明治村館長)、長尾充様(文化庁参事官(建造物担当)付主任文化財調査官)、佐藤哲章様(江東区副区長)にご参加いただき、文化財の保存活用について議論を深めたいと考えております。

B 百周年記念資料館企画展示 「明治を輝らした光 -燈台巡廻船明治丸の活躍-」

公開時間■10:00~16:00 場所■百周年記念資料館1階

重要文化財「明治丸」の燈台巡廻船としての活躍を紹介します。

C キャンパス史跡めぐり

実施時間■10:00~14:00 集合場所■総合案内所前

海事普及会の学生が越中島キャンパス内の史跡をご案内します。(1回約30分)
史跡めぐり | 10:00/11:00/12:00/13:00/14:00

D 附属図書館 企画展示と ペーパークラフト体験

公開時間■10:00~16:00 場所■附属図書館越中島分館

「明治を輝らした光 -燈台巡廻船明治丸の活躍-」の関連資料展示と灯台ペーパークラフトの組み立て体験を行います。

研究室・実験室等

E 垂直循環型回流水槽の公開

場所■第1実験棟・垂直循環型回流水槽

船舶の性能を推定するために行う、垂直循環型回流水槽を用いた模型実験を公開します。

■連絡バス時刻表

越中島キャンパス 発	着	品川キャンパス 発	越中島キャンパス 着
10:15	10:45	10:50	11:20
11:30	12:00	13:00	13:30
13:45	14:15	14:30	15:00
15:15	15:45	16:00	16:30

※定員(40名)超過によりご乗車できない場合がありますので、ご了承ください。

プ & イベントガイド

- 食棟
推進機構
中島分館
- ⑬ 2号館
 - ⑭ 越中島会館
 - ⑮ マリン・カフェ
 - ⑯ 第4実験棟
 - ⑰ 第5実験棟
 - ⑱ 3号館
 - ⑲ 第1艇庫
 - ⑳ 第2艇庫
 - ㉑ 課外活動棟
 - ㉒ 体育管理棟
 - ㉓ 船舶運航性能実験水槽棟



の公開

公開時間■10:00~16:00
※都合により公開時間を変更することがあります。

F 水の実験・工作教室

場所■第1実験棟・回流水槽

簡易的な推進機能を備えた模型船の工作、簡単な講義を実施します。小学生以下を対象とします。



G 2020年オリンピック・パラリンピック招致PRブース

実施時間■10:00~15:00 場所■越中島会館1Fラウンジ

招致応援メッセージをいただいた方に、グッズを差し上げます。

H 「やよい」による東京港ミニクルーズ

実施時間■10:30~ 乗船集合場所■ボンド前

一航海約50分/各便定員40名/9:30から全便受付

出航時間 | 10:30 12:30 13:50 15:10

I カッター試乗会

実施時間■11:00~ 乗船集合場所■ボンド前

一航海約30分/各便定員15名/9:30から全便受付

出航時間 | 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00

※「やよい」、「カッター」は全て各便とも当日9:30から先着順に受付、定員になり次第、締め切りといたします。なお、毎年多くの方が乗船を希望されることから、乗船を希望されるご本人のみの受付とさせていただきますので、予めご了承ください。また、当日は受付開始前から混雑が予想されますので、併せてご了承ください。

※乗船イベントは天候等の都合により中止することがありますので、あらかじめご了承ください。屋外での乗船となりますので、帽子等での防暑対策をお願いいたします。また、心臓疾患の方、気分がすぐれない方の乗船、ハイヒール等かかとの高い靴、サンダル等すべりやすい履物を履かれた方は乗船をお断りする場合があります。

J 海洋工学部・学科紹介(個別相談)

公開時間■10:00~16:00 場所■1号館1階ロビー

海洋工学部の教員等と個別に懇談することができます(受験希望者向け)。

品川キャンパスマップ & イベントガイド



A 水産資料館の公開

公開時間■10:00~16:00 場所■水産資料館

水産資料館の展示説明会を開催します。(1回約40分/集合場所:1階ホール)

ガイド(解説)ツアー | 10:50/12:05/13:00/14:20

B クジラの学校

~世界最大のセキジラ骨格解説とクジラクラフト作り~

公開時間■10:00~16:00 場所■鯨ギャラリー

鯨ギャラリー骨格標本の解説(各回約15分)と、クジラクラフト作り(各回定員15名まで)を行います。

クジラ骨格標本のお話 | 11:00/12:30/14:00/15:30

クジラクラフト | 10:30/12:00/13:30/15:00

C 海藻押し葉教室

公開時間■11:00~15:00 場所■水産資料館2階

海藻押し葉作成の体験教室を行います。

D 海の森を守る技術と各地の取り組み あなたのふるさとの藻場では…

公開時間■10:00~16:00 場所■水産資料館前

磯焼け対策の技術開発の紹介や、各地で行われている藻場保全活動を紹介します。

E 海の生き物タッチングプール

公開時間■10:00~16:00 場所■6号館前

エビ等の無脊椎動物、ヒラメ等の硬骨魚類やサメ等の軟骨魚類に直接触れて、海の生き物を感じていただきます。

F 素人金魚名人戦

公開時間■10:00~16:00 場所■楽水会館前広場

愛好家や一般の方から募集した金魚の品評会を行います。投票に参加していただいた方には金魚をプレゼントします。(無くなり次第終了)

G 運河学習成果発表

運河モニタリングを体験しよう!

公開時間■10:00~16:00 場所■附属図書館本館ロビー

水圏環境教育学研究室では、私たちの地元にある高浜運河の水質を改善することを目指し、継続的なモニタリング調査を港南中学校の授業の一環として実施しています。これまでの取り組みとふるさとへの思いを披露します。また、体験コーナーでは、運河のモニタリング調査を実施します。

H 附属図書館公開及び 蔵書の「きれいな海の本」の展示

公開時間■10:00~16:00 場所■附属図書館

きれいな海の本など、図書館所蔵資料を展示します。

I 「青鷹丸」東京港体験クルーズ

集合時間■9:30、13:00 集合場所■本部管理棟 第1会議室

大学ポンドより出港し、東京西航路あたりまで港内クルーズを行います。航行中、船内案内、東京港内の見学説明等を行い、大学ポンドに戻ります。(事前申込制:受付は終了しました。)

J 海洋科学部・学科紹介(個別相談)

公開時間■10:00~16:00 場所■楽水会館大会議室

海洋科学部の教員等と個別に懇談することができます(受験希望者向け)。

百周年記念資料館で開催中の

『明治を輝^てらした光』

関連資料と灯台ペーパークラフト展示&組み立て体験

図書館で
やってます!

※写真はイメージです

2013年7月15日 海の日
10:00 ~ 16:00

明治丸を右手に見ながら直進、左手にある
グレーの2階建の建物が図書館です。左折
して、外階段より2階に上がってください

東京海洋大学 附属図書館
越中島分館

〒135-8533 江東区越中島2-1-6
TEL 03-5245-7362 FAX 03-5245-7334
電子メール tb-joho@o.kaiyodai.ac.jp

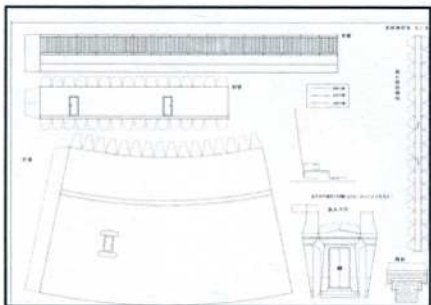
百周年記念資料館で開催中の

て

『明治を輝らした光』

関連資料と灯台ペーパークラフト展示&組み立て体験

本学の練習船として知られる明治丸ですが、もともとは灯台巡廻船として建造されました。明治初頭の洋式灯台の増加に伴い、その建設とメンテナンスを担っていたのです。百周年記念資料館では、明治丸が訪れた灯台の写真や、灯台を描いた貴重な錦絵などの資料を展示しています。これに合わせ、図書館でも、当時の灯台や、その建築に関する資料を、現代の書籍や雑誌記事の中から集めて紹介します。あわせて灯台ペーパークラフトの展示と、組み立て体験も行います。ぜひお立ち寄りください。



所要時間：3時間程度

対象年齢：小学生高学年以上

- * はさみ・のりなどの道具は図書館で用意しております
- * 未完成でもお持ち帰りいただけます
- * 小学生以下のお子様は保護者同伴をお願いいたします

ペーパークラフト提供：一般社団法人 燈光会、名古屋海洋博物館

お知らせ

7/22(月)～8/23(金)「中高生Welcomeキャンペーン」を実施中です。

夏休み中の大学図書館を中高生の皆様に解放しています。この夏は、静かな大学図書館で勉強しませんか？ ※8:45～17:00 土日と7/31・8/14・15は休館日



東京海洋大学 附属図書館 越中島分館

〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6
TEL 03-5245-7362 FAX 03-5245-7334
電子メール tb-joho@o.kaiyodai.ac.jp

小笠原諸島の領有と明治丸の役割

明治丸募金委員会

明治維新前後の小笠原諸島

小笠原諸島は、1593年（文禄2年）信州深志（松本）城主小笠原貞頼が発見したとの伝承があり、1675年（延宝3年）には、幕命により伊豆の代官 伊奈忠易、船長 島谷市左衛門が小笠原の島々の巡検調査を行い、地図、海図を作成し幕府に報告しております。その後は、幕末に至るまでの間、欧米の艦船がしばしば訪れ、特に1827年（文政10年）には、英国軍艦ブロッサム号、1853年（嘉永6年）には、米国ペリー提督、露国ブチャーチン提督が日本訪問の途次、父島に入港しております。幕末には少数の欧米系人が定住するまでになりました。

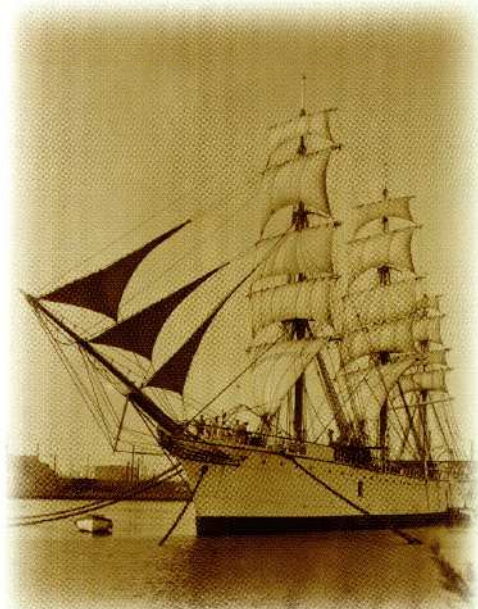
幕府は諸外国との通商条約締結による開国後、これらの状況を踏まえ、1861年（文久元年）12月、外国奉行 水野忠徳、目付 服部常純ら90余名の開拓調査隊を咸臨丸にて小笠原諸島に派遣しました。この時、幕府は英米各国公使に小笠原島開拓の再着手について通知書を出し、これまで無人島として知られていた島々に対して公式に「小笠原島」と明記しております。そして翌1862年（文久2年）には開拓民を募集し送り込みましたが、翌年、幕府をとりまく内外の情勢が緊迫したため開拓民を引き揚げております。このように小笠原諸島の統治問題は解決されぬまま江戸幕府は倒れ、明治新政府に引き継がれました。

明治丸の派遣

明治維新後しばらくの間、新政府は小笠原諸島の統治問題に消極的でしたが、列強の関心を放置できず、1873年（明治6年）12月右大臣から、太政官布令として、内務、大蔵、海軍、外務の各省に対し小笠原諸島の開拓対策について諮問し、1875年（明治8年）に至り、政府は小笠原諸島の所轄の方針を定め、調査団の派遣船に明治丸が選ばれました。明治丸は、外務四等出仕 田辺 太一、租税権助 林正明、海軍大尉 根津勢吉、地理寮七等出仕 小花作助の政府調査員のほか、写真師、私費で同島開拓を志願した華族 京極高典らの一行を乗せ、1875年（明治8年）11月21日横浜港を出港しました。

日本政府の措置に関心を抱いた英国公使パークスは、軍艦カーリュー号に横浜総領事ロバートソンを乗せ、翌11月22日横浜を出港、小笠原に向かわせました。

新造船で船足の速い明治丸は、11月24日早朝、小笠原島 父島二見港に到着。調査団は直ちに、島民を明治丸船上に集め、日本政府が小笠原諸島領有の方針を決定した事と、調査のため来島した旨を伝達しました。英艦カーリュー号は、2日遅れて26日朝、二見港に着き、明治丸の近くに投錨しました。ロバートソン領事は、英国 軍艦ブロッサム号の艦長 ビーチーが1827年（文政10年）に遺した英国国王の領有を書き記した銅板を島民の家で発見したものの、日本政府調査団との会談でも所屬問題を持ち出すことなく、12月3日横浜へ向け帰帆しました。日本政府調査団は、母島を含めて調査を続け、12月16日横浜へ帰着しました。3日後の12月19日には調査団から内務、大蔵、海軍、外務の各省宛に現住者の戸口調べをはじめ、寄港した諸外国船舶の調査、島内において死亡した者の国籍別調査、小笠原島開拓計画書、政務支庁を設置する経費予算書などの調査報告書が提出されました。



昭和8年 明治丸総帆



平成23年 明治丸

1876年(明治9年)1月、この調査にもとづく外務・内務・大蔵各卿と海軍大輔連名の「小笠原島着手方略見込書」が太政大臣に提出されました。同年10月17日寺島宗則外務卿から、欧米12カ国(注)の駐日公使宛に、小笠原諸島を日本政府が官庁を設け直轄する旨の通告が行われ、領有問題が決着しました。

今日に残る明治丸の功績

小笠原諸島の領有の結果、我が国は領海に加え広大な排他的経済水域(EEZ)を確保する事となりました。日本の領海と排他的経済水域は447万K²で、世界第6位であり、その約3分の1が東京都小笠原村に属しております。また、小笠原諸島の近海には、海底から噴出した熱水に含まれる銅などの金属沈殿物など豊富な海底資源が眠っており、その概略資源量は無尽蔵とも言われております。更に、広大なEEZには豊かな水産資源も併せ期待されます。

加えて、2011年6月には、100に及ぶ固有種の貴重な動植物と美しい自然が評価され、小笠原は世界自然遺産に登録されました。

明治丸は小笠原諸島領有を通じて日本に大きな宝と夢をもたらしたのです。

(注)欧米12カ国：イギリス、イタリア、アメリカ、オランダ、デンマーク、ベルギー、オーストリア、ロシア、ペルー、スペイン、フランス、ドイツ

(参考)「歴史の語る小笠原島」大熊良一 著
南方 同胞援護会発行
「小笠原島要録」小花作助 著
小笠原諸島史研究会発行

(協力) 東京海洋大学明治丸海事ミュージアム



日本の領海等概念図(海上保安庁HPより)

2011年10月









アンカーの塔

商船教育発祥を記念して、昭和40年に85周年記念会により建立された。このアンカー（錨）は係留練習船としての明治丸をポンド内に定置する際に用いられたものである。アンカーの主幹は北極を指し、ストックは天の赤道を指している。

The Anchor Monument

The "Anchor Monument" was erected in 1965 to commemorate the establishment of the mercantile marine education history in Japan, by a donation from the 85th Anniversary volunteer society. This anchor was fitted to the T.S MEIJI MARU when moored in the TUMSAT Etchujima pond in 1901. The anchor shank points to the North Pole and the anchor stock indicates the celestial equator.







60,000 LTDW NUCLEAR THREE

60,000 LTDW NUCLEAR THREE is a nuclear reactor component. It is a large, dark, cylindrical object with a complex internal structure. The reactor is designed to generate power for the ship's propulsion system. It is a key component of the ship's power plant. The reactor is located in the hull of the ship, and it is protected by a thick layer of shielding. The reactor is a critical part of the ship's power system, and it is essential for the ship's operation.

60,000 LTDW NUCLEAR THREE





プロペラ

昭和天皇陛下の御定乗機に使用されていた正副プロペラ。
重量：1700kg、材質：インコニールプロシテ
製造：北沢製作所（1955年）製
長さ：全長1.95m、直径：最大径1.2m、全高：1.2m、全重：1700kg
製作：北沢製作所

